



てんひこ

発行所 株式会社 天彦産業

大阪市住之江区南港南5丁目5番26号 TEL (06) 6613-2361(代)

ホームページ/<http://www.tenhiko.co.jp/>

メールアドレス/info@tenhiko.co.jp

編集発行責任者 ヒラメキ委員会

出田、江原、上田、谷、松本、新宮、東、板野



平成17年度 経営方針

『企業理念』

われわれは人類社会向上の
ベースたる働きをするものである。

1. 我社は三方良し（売り手良し、買い手良し、世間良し）の精神を再認識する。
2. 我社にとって現状維持は死を意味する。常に時代を先取りし、社会のニーズに応え、グローバルな視点で領域を充実・拡大する。
3. 我社を人生創造の場と位置付け、生き甲斐、働き甲斐を見出し、自己実現を図る。

『GET130運動』 充実の年

“大きな視野(GLOBAL)で、技術志向 (ENGINEER)の、
天彦(TENHIKO)へ、オンリーワン・サーティアップ”

『キーワード』

“心新たにもう一段”

『重点活動』

- ◎創業精神で真のプロ化
- ◎事業・市場領域の拡大
- ◎安定収益体質の定着

『業績目標』

- 1) 総資本・経常利益率 30%UP
- 2) 加工品比率 30%UP
- 3) 自己資本比率 30%UP

平成17年度を迎えて

代表取締役社長
樋口 克彦

昨年度は、GET130運動をやり続けた皆様の努力の結果、当初の計画を大幅に上回ることができました。中国特需・自動車業界の活況等、我々を取り巻く好環境にも助けられ実力以上の結果が出ました。

さて、17年度は再値上げと忡不足の中で、我々の実力が試される年です。創業130周年の区切りの年でもあり、創業時の信用力もマーケット力も技術力も不十分な状態でも意欲と気概だけは、ものすごく強かつたものとは思われます。我々は必ずこれを引継ぎ、心新たにもう一段「キーワードに」まず自分がやる「どこんやり抜く」をレベルアップし強化していただきたい。

経営基本方針に掲げました近江商

人の伝統である「三方良し」の精神は、我々が130年続けてこられたその時代の環境に適応してこられた根底に流れていたものと再認識し、更に時代感覚を先取りし、生き甲斐・働き甲斐を見出し、企業の繁栄と個人の幸福をリンクさせて頂きたい。

重点活動である「創業精神で真のプロ化」は、GET130運動の技術思考の専門家集団を目指して各自がスキルアップした姿を形作り、「事業・市場領域の拡大」「安定収益体質の定着」を計り、まさに充実の年を迎えたいものです。

シリコロイを中心とした新商材の拡大、昨年より本格化した海外進出の情報調査も、今一度創業精神を呼び起こし、もう一段進化すれば必ずや結実するものと思います。

良く危機感が企業や個人を強くすると言われますが、危機をそれぞれがまったく駄目になってしまいう時と捉えがちですが、我々は今より一歩でも向上進歩しない時を危機感と受

け止め、まさに「心新たにもう一段」を合言葉に「安定収益体質の定着」を成し遂げたいものです。

創業精神のDNAは、自分達が決めた方向へ脇目も振らずに一直線に突き進むことだと感じています。その方向にひたすら前に進み能力を高め、結果を出したもののだけが、大きな喜びを得ることができる。これが真のプロ集団だと思います。そんな集団も、もう眼の前にあるという気がします。

前挽鋸から始まった物造りのDNAは加工品比率を引上げ、「三方良し」の精神のもと行ってきた「人間力強化」「本物の利益追求」は「部分

より全体最適」と相まって、我社のDNAになりつつあるのではないかと感じております。

昨年末の全社会議で「5年後10年後の天彦像」が討議され、優勝チームが掲げた「天彦社員が胸を張って会社に誇りを持ち、いつまでも勤めていたい会社を創造する」をターゲットに皆様より出された多くの意見を集約し、ビジョンに仕上げたい。

各部門・グループ・委員会は経営方針に則り、今年度のそれぞれの目標・計画を成し遂げ達成感を味わうとともに、将来に明るい展望を抱ける天彦を造りあげようではありませんか。

17年度営業部方針

専務取締役営業本部長
樋口 友夫

6月1日付け社長就任を4月1日に発表されましたが、身の引き締まる思いです。幼い頃から3代目、4代目の社長の姿を目の当たりにしてきましたから、いかに大役かと重圧

を感じています。子供の頃から持っていたイメージは「中小企業の経営者は大変だ。」でした。(後に昭和27年に大負債を抱えたことを知ったが)東洋発條工業(株)社長が「世の中で最も割りの悪い仕事は中小企業の社長や、つまり孤独業や」と言われたことが、ズシンとききます。

ところが、4代目は45年に東大阪へ自社ビルと倉庫を持ち、宮田鋼との合併、1800坪の南港への移

転を経て、123周年の大偉業を成功させました。私には考えられない展開で尊敬に値します。そして130周年、正に充実の年を迎えている年に社長就任は重責を感じざるを得ません。

さて今期は4代目が築いてきたこの風土をしつかり継承し、安定収益体質を定着させることです。環境に後押しされたとはいえ、16年度は計画を大幅に上回りました。更に今期営業から出た計画は前期を突破するものとなっています。充分裏付けの持てる数字だと思います。

鉄鋼業界のトレンドは必ずしも他業界と連動していません。経済の流れはデフレ傾向でまだ数十年は続くと思っています。また、鉄源高騰による大幅値上げが実行されましたが背景にデフレ経済があることを忘れてはいけません。つまり最終製品に反映されにくい状況だということですね。そこで現在起きていることはエンドユーザーまでの距離の短縮化です。流通再編は問屋段階まで来ていますし、トヨタが一兆円のコストダウンを打ち出したように、安定供給を軸に購買ルートを整備してきます。つまり鉄鋼メーカーまでの距離の短縮化です。当然のことながら、

中間業者や製造下請にストレスが増大してきます。これが爆発すると倒産への道で、与信管理をしつかりしておかなければなりません。

我が社のスタンスは「使う人があって、造る人がある」そして「人々の心をつかまえた商品なら必ず売れる」に置くことだと思います。特有のデフレ経済はネガティブ人間を排出していますから、癒しやゆとりが当面の切り口になってきます。三方良し（売り手良し、買い手良し、世間良し）の精神を再認識しなければなりません。これを実行する為には先ず社員にゆとりが必要だと思えます。社員が幸せになればなるほど本物のサービスを行えると考えます。具体的には加工品比率を上げること、ユーザーのコストダウン・プレゼンテーションを行い、購買ルート短縮化へ対応していくのです。今期はフライス機を導入するのも、この一端です。明言できることは問屋機能だけではユーザーは納得しないということです。

海外生産の流れは止まることなく続いています。中国、アセアン、欧米へと拠点を移しています。更なるグローバル視が求められますが、タイへの進出に本格的に取り組めます。

シリコロイを含めて事業・市場領域の拡大を図らなければなりません。今回の長所朝礼で感じたことがあります。発表者も本人も非常に気分が良くなっていることです。「人の幸せ、人の成功を素直に心から喜べる人間集団でありたい」を強く感じ

昇格



第一営業部部長
山川 隆男

平成17年度より第一営業部部長の資格を頂

きました。入社以来、国内営業から貿易の仕事に携わって約30年が経ちました。何時のときも好奇心とチャレンジ精神を忘れずにやってきました。今年度のキーワードでもある「心新たにもう一段」を合言葉に一層の飛躍を目指して行く所存です。なにとぞ応援の程、宜しくお願い致します！



第二営業部部長
杉原 信良

部長資格認定ありがとうございます。素直な気持ちで責任重大と受け止めています。

2005年1月8日創業130年目を迎えました。6月1日には会長就任、新社長が誕生し、新生てんひこが始動します。一大行事を控えて気持ちも例年とは一味違います。第二営業部はGET130運動の充実に

寄与することを基とし運営します。05年度の大きなポイントとしては2つあると考えました。1つは加工開発型流通業への進化です。加工販売の切り口としてコストダウン・プレゼンテーションの内容充実とトレーニング・スキルネットの活用です。いかに外注加工ネットワーク・スキルをブレンとして活用できるかが重要となります。2つ目は営業係長のもう一段上の資格昇格です。日新製鋼、三菱製鋼メーカー窓口業務を部下に移管しました。きつと自分のモノにしてくれと期待しています。これら2つのポイントが及第点となればゴール達成は間違いありません。

ました。Hart to Hartをキーワードに安定収益体質の定着を目指したいと思っています。
なにする新米社長がスタートします。皆さんの尚一層の活力で支えて頂きたい。
よろしくお願ひします。



CSセンター
上田 勉

今年4月1日付にて課長の資格認定を頂き有難うございます。
我CSセンターの工場化に向けた動きを加速させると共に自分に与えられた使命を全力で押し進めて行きます。今後とも宜しく御願います。



管理総務部リーダー
大橋 浩

このたびは、管理総務部リーダーの資格認定を頂きありがとうございます。大変うれしい反面、責任の重大さを感じております。リ

ーダーとしての役割は、自分の部署のことはもちろん、今まで以上に全社的立場で物事を考えていかなければならないと思っております。絶えず、数字で判断し、目に見える形で効率化を目指したいと考えます。
今年度は、私自身キーワードの「心新たに もう一段」を実行する為、日々努力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



CSセンター次長
中居 光世

平成17年度を迎え、引き締まる気持ちの中で、さらに次長資格認定を頂き有難う御座います。
2年前より「生産に対する工場の考え

方」・「コスト意識の徹底」に取り組んで参りました。本年4月にはプライス盤2基が導入され、加工内容もさらに充実・レベルアップ出来ます。本年度重点活動の項目に掲げられた「創業精神で真のプロ化」、まさにそれを実践する舞台が整えられた訳です。我々が従来培ってきた考え方を実践し、「お客さまのお役に立つ」・「心の込められた商品の生産」を第一に本年度邁進して行きます。

現在、へ「目に見えない波勢」が押し寄せてきているように感じます。この波に乗り、見えるカタチとして結果を残したいと考えます。よく言葉だけで実行が伴わないと指摘を受けます。2005年度は、論語読

みの論語知らずにならないためにも額に汗する覚悟です。まだまだ若造の部長ですのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



委員長
出田 秀樹

「心新たに 自己啓発」

平成17年度のヒラメキ委員会は、メンバー・出田（委員長）・江原（副委員長）・上田・谷・新宮・松本・東・板野 総勢8名で活動を行っていききたいと思います。キーワードは、「心新たに 自己啓発」と致しまして、創業130周年節目の年に当たり、もう一度初心に戻り、「自己啓発」というテーマに対して、「真の自己啓発」の追究と推進を、全社員に対して積極的なサポートを行っていきたいと考えております。主な活動内容と致しましては、
1、朝礼：従来の「統一テーマ」での朝礼を見直し、各社員・各部署・各グループに必要な課題



CSセンター
宮脇 勇

平成17年度を、向かえるにあたり主任資格

を頂きありがとうございます。若い人たちに、主任といわれるたびにうれしくもあり、これからは模範として行動していかなければいけないと身の引き締まるおもいです。

これもお客様の応援、社内の先輩がたのおかげだとも思います。その、期待に答えられるようにこれからも、頑張っていきたいと思います。

題での朝礼を行ってもらい、また各社員が朝礼へ積極的に参加出来るように推進するヒラメキ委員会としては、全社員に対して、積極的に朝礼での発表を奨励していきます。最初の段階では、各グループで曜日を決め、その間に委員会や全社会議のグループを日程として組み込んでいく形にはなるとは思いますが、社員の中に朝礼で発表したい人がいれば、優先的に日程に入れていきたく考えています。朝礼の時間を利用して、全社員の情報の共有化の場として、各社員のアピールの場として、また発表する側も、聞く側も、双方が「自己啓発」出来るような、内容の朝礼にしたいと考えています。
2、ビデオ鑑賞：従来通り、土曜日出勤の朝礼の時間を利用して、ビデオ鑑賞を行います。ビデオの内容については、今までの様に業界・経済についての特集や、「もの造りの世界」に加え、感動する内容（九死に一生を得た話など）考えさせられる様な内容（事件・事故・その他）のビデオも鑑賞していきたいと考えています。また、土曜の出勤日以外の日でも、お勧め出来るビデオがあれば、朝礼の日程に組み込んでいきたいと考えています。
3、天彦ギネス：ここ数年議論してきた内容を今一度見直し、「天彦ギネス」の骨組み（仕組み）を作っていきたいと考えています。また、

今期中に出来れば「天彦ギネス」の認定を行い、天彦ギネスのスタートの年にしたいと考えております。

4、社会見学：平成16年度は計画するも、実行出来ませんでした。今年こそは身に付け、実行出来る場所を選定し、自己啓発のきっかけ作りを行いたいと考えております。「観る」・「聞く」とも一つ自己啓発には重要な「触る」(実感する・体感する)を体験出来る場所に、社員全員で行って自己啓発のきっかけ作りに役立



委員長
樋口 威彦

攻めの健康管理で、ハツラツ!!

平成17年度のハツラツ委員会は総勢10名により1年間の活動を行っていきます。

今年のキーワードである「心新たにもう一段」を念頭に、従来の活動を見直し、新たな企画を加え、一年間やり抜いてまいります。

ハツラツ委員会の基本は「健康管理」「社内一体感養成」だと常々考えております。

健康管理の対象は肉体的にももちろん精神面も含んでおります。またいろいろな行事を通じて社内一体感を作り出していくということです。

この基本を元に、実践10ヶ条にある「攻めの

たせたいと思います。昨今の多発する自然災害に備える為、京都にある「防災センター」や、我が社同様に古い歴史を持つ企業、もの造りの場などを見学出来ればと考えております。

以上、上記4項目について、今後議論を重ねていくと共に、重点活動でもある「初心に戻って真の自己啓発」を追及し実行していきたいと思っております。

健康管理は全ての活動の源泉である」を精実に実行することで、より強力な社員、より強力な会社ができあがると信じております。

今年の目玉としては二点考えております。一点目は「ジョギングの発展」です。

これまでジョギングにつきましては、各自で走破距離を計画し、実行することが主体となってきました。ジョギングは会社業績と不思議と連動しており、距離が伸びると業績も伸びる、というサイクルがあり、効果は見られました。しかしながら、ジョギングすること自体が目的となってきたおり、各自にやらされ感があつたのも事実です。

そこで、今年は「ジョギングについて、もう一段」、その先の目的を感じながら行えるようなサポートをしたいと考えています。具体的にはジョギングすることによる健康面の効果(減量、風邪もひかない体作り)や、より効果的な方法についてアナウンスします。また、雨天時の対応としては「縄跳び」も取り入れる予定です。ジョギングすることでこんなよいことがある、こんなによくなったと、各自が実感を持てるような活動を行います。

つづいて二点目は「公私混同運動会」です。元々、クラブ活動のようだと称されることが

多い我が社ですが、その点をもう少し突き詰めてみたらどうかと考えております。

具体的には、従来から委員会内ではアイデアが出ていた運動会やスポーツ大会のようなものを社員の家族が参加できる形で開きたいと考えています。名づけて「公私混同運動会」です。このような行事を通して、ご家族にも我が社をより理解してもらい、より社員が働ける環境を作っていただけたら、と考えております。

以上、二点を目玉に、よりハツラツ委員会を



委員長
伊藤 一成

無駄を無くし、効率UPへ!!

今期も前期に引き続きスツキリ委員長となりました伊藤です。

前期は反省する部分がたくさんあり、やり残したこともたくさんあるのですが、前期で得た経験を元に気分新たにスツキリ委員会をスタートさせたいと考えています。

今期スツキリ委員会では

1、各メンバーに責任者になっていただきます。各提案事項にたいして誰が責任を持ってやるのかを明確にし前期のように結局なにもできない

進化させ、社内に活性化させていきますのでよろしく願っています。

●今年の主な行事予定

- ・日々のジョギング(縄跳び)
- ・日々の健康管理に向けての情報提供
- 春・献血・健康診断
- 夏・体力測定・金剛登山(夏)
- 秋・公私混同運動会(仮称)・OSPソフトボール大会
- 冬・全社会議後のボーリング大会・金剛登山(冬)

つたという事を無くします。

2、工場化に向けてスツキリ委員会として何ができるのか、どのように協力していくのかを考えていきます。具体的な活動内容につきましては、無駄な時間を無くすることですが、現状CSからSP、SPからCS、営業からCSといった感じで問合せ連絡をすることが多々あり、内容については様々なのですが、少し改善すればしなくてもよい問い合わせが大半であり無駄な時間を作ってしまうています。この無駄な時間を無くしていく事をまず目標としていきます。

3、委員会への参加について、しっかりとしたルールを作りたいたいと考えています。現状土曜日の掃除に対して全員参加しておりますが、外せない仕事があり参加できない人がいます。委員会として参加したくてもできない方のフォロー体制をしつかり作ることが大切であると考えています。

4、スツキリ委員会の柱である「安全」・「美化」について全社的に見える形での活動を行っていきます。

以上4点を恒例行事と共にしっかりと行う事を今期の目標にして委員会を運営していきます。



130周年記念旅行 ケアンズの旅



第二営業部 杉原 信良

家族4人で海外旅行は初めてで少し不安があったが、みんながエンジョイしていた。我が奥の院は、ポートダグラスへのゆったりドライブ、長男大輝GBRでのスキューバドゥー、次男託郎はディズニーアニメ“ファインディング・ニモ”が好きで、“ニモ・ニモ・ニモ”言い続け、隠れクマノミのマーリン、ニモとドリーにご対面。大興奮、大満足でした。

出会った陽気なオージーたちがなんとも良かった。笑顔が良い。表情が生き生きとしている。だれからもエンジョイしてくれといわれる。挨拶したいものなのだろう。これからはエンジョイしているか？エンジョイしてくれと日本でも言いたい。

第二営業部 樋口 威彦

ケアンズの青い空、グリーン島での青い空ときれいな海、ケアンズの熱帯雨林の緑、とすばらしい色彩に包まれた幸福な時間を過ごせました。また、オーストラリア人の特にガイドの人を楽しませようとする姿勢も非常に共感できました。(子供たちにとっても、大変よい思い出になったと思います。)(グリーン島が子供たちにとっては一番楽しかったようです)

第二営業部 佐藤 浩一

私たち夫婦にとってオーストラリアは因縁の国で、今から17年前の新婚旅行で行く段取りをしていましたが、ブーム到来の時期と重なり行けませんでした。二人にとって新婚旅行のやり直し、念願のオーストラリアでもあったのです。

第二営業部 松本 修司

まず心に残ったことといえますと、グリーン島に飛行機でいったことです。上空からの景色は見たこともないほどのものでした。島を離れる際には海亀も間近に頭を出し、見送ってくれている感もありました。13年間で5回という旅行に行けるのはあらゆる条件が揃わないと行けないし、やはりお客様あって行けたことと感じております。130周年は1年の積み重ね、人の積み重ねを忘れずにし、謙虚さを忘れずに激動の平成17年度を戦う鋭気を蓄えられました。

第二営業部 川野 葉子

シウォーガを海に入るときはなんともいえない景色にまた感動。三日目は感動しっぱなしでした。今回のオーストラリア研修旅行ではめいっぱいリフレッシュでき、感動できたと思っています。今後は、今まで通りがんばっていきたいと思います。家族と一緒に連れて行っていただいてありがとうございました。



第三営業部 新宮 義之

前回のオーストラリア旅行のレポートにも書いたのですが、言葉が通じないことが非常に辛く、楽しさを半減させてしまったことです。しゃべれたらもっと楽しかったのになあという後悔があったので、今回は『旅行に役立つ英会話』という本を購入し、いろいろな場面を想定した英会話を勉強しておきました。早速その英語を行きのオーストラリア航空の飛行機の中で試したのですが、なんと乗ってみたらほとんどのスチュワーデスは、日本語が少しですがしゃべることができる人でした。しかしそこで勇気を出して英語で応対したところ、相手も英語がわかる人だと判断したらしく、べらべらべらべら……とわけのわからないことを並べてこられたので『しまった！こんな言葉 本には載ってない！』とあせってしまいました。とりあえずその場は笑ってごまかしましたが、結構そのスリが面白かったです。

第一営業部 江原 美保

グレートバリアリーフ！一番心に残った思い出です。天気はすこぶる良く、グリーン島へ着く手前のところで、船の上からカメラが4匹泳いでいるのを見てははしゃぎ、エイが飛ぶのを見てはしゃいでいました。グリーン島のビーチは泳ぐとわりと深く少し遠い所まで泳がないと魚がいませんでした。シュノーケルをつけても溺れるような気がして、浅い所を泳いで遊んでいました。アウトリーフではスキューバドゥーに挑戦し、珊瑚礁や熱帯魚をゆっくり観察することが出来ました。シュノーケリングでも、本当に沢山の珊瑚礁が広がっているのを見ることができ、とっても楽しかったです。

第一営業部 石川 史子

ケアンズではなんと言ってもグレートバリアリーフの美しさ、海の色、熱帯魚、気球から見た朝日と風景にとっても癒され、感銘を受けました。写真では自分が見たようには撮れませんが、私の記憶にずっと残っています。



管理総務部 山下 美華

今回の旅行で一番の思い出となったことは「ミンジン」を体験したことです。ミンジンとは簡単に言えばバンジージャンプを真下ではなくブランコのように横に飛ぶもので、世界中の人がわざわざバンジージャンプをする為だけにやってくるという所に連れて行ってもらい、折角だからということで姉と一緒に飛んできました。怖さは一瞬で、それよりも景色がとても綺麗で、体験したからこそ見ることができた景色なんだと思うと本当に大切な思い出になっています。

C Sセンター 伊藤 一成

二日目、旅の一番の目的であるグリーン島とアウトアリーフへ行ききました。当日はオーストラリアではあるが日本晴れ、雨季であるということですが、雨に降られることもなく一日海を楽しみました。特にアウトアリーフでは、たくさんの魚や綺麗な珊瑚を見ることができました。しかもシュノーケリングをしているときにナポレオンフィッシュを発見し水中カメラに取めることに成功し興奮しました。この日は子供のように遊びそしてはしゃぎ、グレートバリアリーフを満喫しました。

C Sセンター 宮脇 勇

結婚したばかりの私としましては、妻をひとり残しての旅行は、少し気が引ける思いがありましたが、今回は記念旅行ということで、家族を一人連れて行けることになり、妻も喜んで参加してもらいました。合同パーティーに妻が参加したことにより、会社のことを少し理解してくれたように思います。

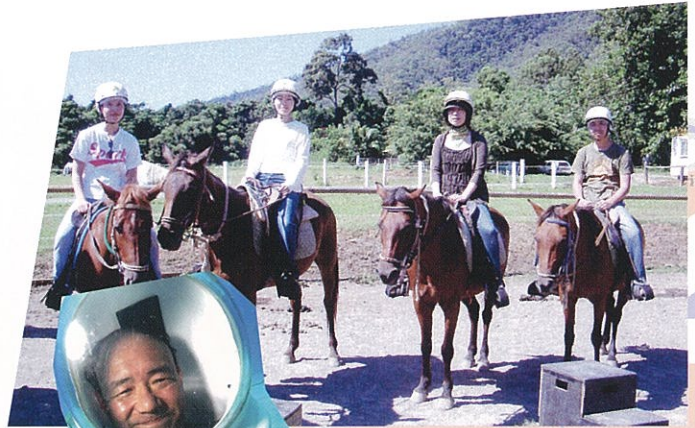
C Sセンター 西谷 浩

ケアンズの町に入るともっと活気があってにぎやかな町と思っていましたが、そうでもない印象をもちました。観光地というのに店が閉まるのが早すぎる。だから治安がいいとなるのかも知れません。もっと商売根性を見せて町の活性化をすればなあと思いました。

営業本部 村上 威津夫

ケアンズの町で感じたことは、治安がよく日本から働きに行っている若者が多かったこと。ある一人の女性は、スキューバダイビングのインストラクターの資格を取得する為に、アルバイトをしながら勉強をしているとのことだが、取得してもなかなか働くところがないというのがちょっと淋しい気がする。

今回の旅行は、家内同伴ということで夢のような旅行ができ、家内が喜んでくれ、旅行中お世話になった大阪クラッドの谷口社長様、JTBの元良様には非常に感謝しております。有難うございました。



第二営業部 板野 知恵

ケアンズにて、乗馬を初めて経験しました。森の中を約2時間の散歩です。日差しは変わりなくキツイものでしたが、日陰では、森の空気がすがすがしく感じ、さわやかな気分になりました。馬にもいろんな性格があり、人間なれしているというものの、好きときに草を食べたり、休んだり・・・かわいらしい一面をのぞかせてくれました。

管理総務部 岩崎 哲夫

創業130周年記念パーティー、永年勤続表彰、各組織からの表彰、GET130みんなGETしたこの喜び、社長挨拶での現在のスタッフが最高の人材だと誇れるとの言葉は全社員の大きな石となり、より一層の力強い励みになったことと思う。一班、二班無事何事もなく終えられた事がなによりだった。

管理総務部 大橋 浩

三日目に行ったグリーン島では当初、私は泳ぐのは苦手なので日光浴のみと決めておりましたが、若い連中に誘われ水中遊泳などをはじめて経験し、海の綺麗さ・魚の鮮やかさなどに感激してしまいました。

翌日は気球に挑戦！朝4時前に起き夜明けと同時にあがっていくバルーンは最高！気が付けば高度1000メートルまで上昇しており、そこから見るケアンズの町並み、海、山、360度のパノラマ！今まで見た事のない映像を私に与えてくれました。

管理総務部 東 久美子

三日目には、いままで怖くてできなかったスキューバーに挑戦してみました。水が怖かったわけではなかったのですが、鼻で息ができないという状況・耳が痛くなる恐怖を知り、説明を聞いているうちにどんどん不安になってきました。実際に潜り、口で息をすることに意識を持たせながら、「耳抜き」をするのですが、この「耳抜き」ができていないのかどうかかわからず、そして「耳抜き」に意識がいくと口で息をすることを忘れ、苦しくなってしまいました。どんどんパニックになっていくなか、根気強くスタッフの方が側にいてくれたので何とか潜ることができました。

平成16年 年間賞発表

天彦賞

第1営業部
出田 秀樹

天彦賞を頂きありがとうございます。年間MVPに選ばれた事、驚きと感動と、皆様方のご支援があったおかげだと、感謝の意で一杯です。今年は営業面では、新しいお客様の担当をさせていただき、加工や材料の事、業界の事、色々と勉強する事も多く、委員会活動や彦友会など、新しい事をどんどん経験することが出来ました。正直、大変ではありましたが、自分自身、昨年よりレベルアップできたのではないかと自信を持っております。この経験を生かし、来年も新しい事に積極的にチャレンジしていきます、今年以上に頑張ります。

成長賞

第2営業部
小林 計正

参りますので、今後ともご支援、ご指導のほど宜しくお願い致します。

平成17年1月5日(私の29歳の誕生日)に私は平成16年の成長賞に選ばれました。

私は入社して6年、今までお客様・仕入先様・加工協力先様から大切に頂き、その感謝の気持ちが私の原動力となっております。

昨年からは、国内のみならず、海外への戦略のポジションを与

えられ、没頭する日々を送れて「充実しているなあ」という感じです。

私が掲げている「特殊鋼・板のトータルエンジニアリング」は、お客様・仕入先様・加工協力先様と情報を密にして取り組み、結果として成果を挙げている事です。

昨年にはタイでのFS調査を通じて「ビジネスプランニング」を考え、専門家の下で、考え方と発想についての基礎を固めました。

今年(平成17年)は海外への戦略(タイ構想)への実現化をするべき年となっており天彦の「特殊鋼トータルエンジニアリング」としての挑戦が始まります。

私には大きなチャンスとピンチが同居する一年となりますが、やり遂げるようがんばります。

成長賞

CSグループ
伊藤 一成

今回、成長賞を受賞してとてもうれしく思っております。入社して四年目にして初めての年間賞ということもあり、言葉に出来ないくらいうれしいと思います。昨年二度ベスト社員を頂いていましたので、年間賞を取れるんかなと私自身も思いましたが、またまわりの人達からも、今年は取れるんじゃないのと言われました。どちらかというと、周りの人達から言われることがプレッシャーに感じていましたので当日名前を呼ばれるのか非常に緊張し、呼ばれた瞬間は嬉しいというよりも、よかったーという思いでいっぱいでした。

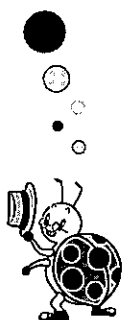


第2営業部
杉原 信良

創業百三十周年記念特別賞を頂いて

昨年は自分自身でも成長したことを実感することができました。特に自分の精神面の成長を感じました。その要因の多くは委員会にあると思います。昨年スツキリ委員会の委員長を任せ、当初はどのように委員会を運営すればよいのか悩みました。杉原部長、村上次長と相談しながら初めのころはお二人にどうしましょうかとある程度決めていただいておりますが、いつのころからかは覚えていませんが、ある程度は自分で決め、そして委員会メンバーに相談し実行するということが出来る、当初感じた悩みも無くなり、やれると言う自信がで

きました。作業面でもDCTでの切斷作業をスムーズに行うことができ、入社当初の自分を思い返すと、なぜこれが出来なかったのだろうかと後悔してしまいます。今後は自分の行動に後悔しないように自分に出来ることをとことんして、今年も年間賞を目指します。成長賞どうもありがとうございました。



記念すべき年に特別賞を頂けたことは名誉なことと受け止めています。家族ともども喜び幸せだとつくづく思っております。本当に感謝申し上げます。04年は値上げに始まり値上げで年を締めた激動の年でした。

新人賞



第1営業部
石川 史子

新人賞頂きまして、ありがとうございます。

振り返ってみると入社してからずつとがむしやりに突き進んできたように思います。自分に手一杯で全体を見渡す余裕がなく、皆さんにご迷惑をお掛けし申し訳なかつたです。失敗もしましたが、そこからは「次こそは絶対に失敗しないぞ」と意識

年最多8度に及ぶ値上げ、それにとまなうお客様方との厳しく辛い交渉を1年通してやつてきました。また、メーカー契約、納期交渉、価格見直し修正、タイ地区市場調査など大忙しの働き甲斐があった年だと思っております。この中で04年度方針「まず自分がやる」を実行しているところを社内でも評価して頂いたと受け止めています。また、夏以降、減量に取り組み6kg達成できたことも印象に残ったと思っています。今年も特別賞を励みとして年度新記録達成、更なる発展に挑戦してゆく考えです。本当にありがとうございました。

を高く持つことを学びました。これからも、先輩方をお手本にし更なる自分の成長を願い、皆さんと一緒に頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。



★なんでもランキング★

- 頼りがいがあるで賞 杉原 信良
- 思いやりがあるで賞 大橋 浩
- 人の話を聞きま賞 小林 計正
- さわやかで賞 山下 美華
- 体型が変わったで賞 村上 威津夫
- 輝いているで賞 西 淳史
- 好奇心旺盛で賞 出田 秀樹
- ユニークで賞 石川 史子
- 魅力的で賞 板野 知恵
- とことんやり抜いたで賞 上田 勉
- きっちりしているで賞 川野 葉子
- 意外な一面があるで賞 樋口 威彦
- 130歳まで生きそうで賞 樋口 克彦



★H16年度ベスト社員★

平成16年4月度	出田 秀樹
5月度	小林 計正
6月度	伊藤 一成
7月度	樋口 威彦
8月度	板野 知恵
9月度	杉原 信良
10月度	川野 葉子
11月度	伊藤 一成
12月度	杉原 信良
平成17年1月度	大橋 浩
2月度	杉原 信良
3月度	大橋 浩

2003年 10大ニュース

1. 念願のオーストラリア旅行。平成14年度計画達成を実現し、社員の士気高まる。
2. 『シリコロイ』展示会に出展。社内外にアピールし、本格販売スタート。
3. 大阪府経営革新計画承認企業に認定される。
4. 平成15年度月間ベスト社員に、5回選出されるなど、女性社員の活躍目立つ。
5. 営業部開発革新チーム発足。新規分野への展開実現へ。
6. 『心でっかちな日本人』（読書テーマ本）社内大ブーム。新しい会社の方向探る。
7. 『DASH.T.T.H運動』燃焼の年。全社員とことんやり抜き、次のステップへ。
8. 平成15年度期首計画達成黄信号。全社員奮起期待。
9. 支部長会社の意地。全日本特殊鋼流通協会主催の若手交流会『かくし芸大会』にて、堂々の優勝。
10. タイへの本格進出を目的に現地市場調査開始。

(次点)

- ・産業技術記念館見学ツアー開催にて、天彦産業工場化思想進む。
- ・和文・英文HP開設にて、世界の企業にアピール。

2004年 10大ニュース

1. 樋口社長、古希を迎え、憲法記念日に『産業功労賞』として知事表彰を受ける。
2. 今年も展示会盛大に。東京1会場、大阪2会場、1,611名の来場者を誇る。
3. 全社会議にて、テーマ『5年後、10年後の天彦像』を全社員で熱く語り合う。
4. ハツラツ委員会主催の献血にて、日本赤十字社より『銀色功労章』を授与される。
5. 有終の美。最後のO.S.P.テニス大会にて、佐藤・中井ペア悲願の優勝。
6. 営業、SP、一人一台パソコンを導入。社内IT化に着手し、デスクネット、情報の共有化を図る。
7. CSセンター、大型切断機導入と同時にレイアウト変更し、生産性UP実現。
8. 恒例の『金剛登山』参加者新記録、夏冬共に更新。
9. 『GET130』を合言葉に、委員会活動社内活性化。全員一丸となり、業績目標達成。
10. 若手台頭、ベスト社員を独占する。ほとぼしるエネルギー突出。新風を起こす。

(次点)

- ・大幅減量する人が多い中、村上次長10kg以上体重増。
- ・スーパーシリコロイ号（ファンカーゴ）登場。通行人の視線を独り占め。

TOPICS

はがねの日 記念ボウリング大会

4月23日(土)に社団法人 全日本特殊鋼流通協会 大阪支部主催による「はがねの日」記念ボウリング大会がORC200のボウリングスにて行われました。

総勢144名という大勢のなかから、わが天彦産業からは222というハイスコアで松本係長が3位に入賞されました。チーム得点もみんなの活躍のおかげで計1,182というスコアでこちらも見事総合3位に入賞いたしました。



当社ホームページは、H15年4月より本格OPENし、H16年5月に在庫表、H17年1月には金剛山記念登山等その時々最新の情報を発信しています。

ぜひ一度、下記アドレスまでアクセスしてください。

<http://www.tenhiko.co.jp>

担当：開発・革新チーム 樋口(威)、中井

結婚報告
西 淳史

結婚おめでとう！

出会いは友人の彼女からの紹介がきっかけでした。出会いといっても最初はメールアドレスを教えてもらい、今流行のメル友からのスタートでした。メールを交換するうちにお互いに気持ちを通じ合うようになり、そこから今度は「直接話をしたい!」と思うようになりました。お互いに携帯番号を交換し、直接会話をすることで更に気持ちが高まっていくのがわかりました。

そして念願の初デート。場所は長島スパランドでした。これまでメールそして携帯電話という順序を経てきたといっても、やはりはじめてのデートということで、二人ともかなり緊張していました。しかしジェットコースターやフリーフォールといった絶叫マシンと一緒に楽しんだことで、すぐに緊張も解け、二人の距離が一気に縮まりました。いろいろと楽しみ、最後に観覧車にのりました。観覧車の二人っきりの空間がさらに気持ちを高まらせ、良いムードになったので、思い切って彼女に告白をしました。もちろん返事はOK。

そこから正式な交際が始まり、週末はほとんどデートという日が続き、お互いに結婚を意識するようになりました。四年間という年月をかけて育んできた想いを、彼女の両親に伝え、晴れて結婚することとなりました。

これからは夫婦として仲良く頑張っていけますので、皆様よろしく願いいたします。

- ★自己紹介
S41年5月13日生
AB型 おうし座
- 趣味
デジタルものを触ること
(PC・DVD・PDA)
- 読書
スポーツ観戦(特にサッカー)
- 自慢話
インターネットで裏情報を探すのはまかせてください。
どんな場でも一言、言いたくなります。
- 憧れる男性像
カラオケなら一晩中歌っても大丈夫
- 憧れる女性像
・アイルトン・セナ
・夢に向かって全身全霊を傾けることのできる人
・好きな女性像
・狐顔の女性がタイプです。仙道敦子のような...
- 樋口リダーはこんな人
・お茶目
・ITに強い!!
・誰とでも付き合えることを考えている
・ひそかに人を笑わせることを考えている
・シャイ
・積極的に話しかける人
・人当たりが優しい
・疑問が湧いたらすぐに調べる
・知識欲旺盛
・歌がうまい
・楽しい人です
- ・今流行の歌に詳しい
・もしかして、ガンダム時代に育った人ではないかと思う。ロボットの分野が得意そう
・人の相談事を熱心に聞いて対応してくれる



第2営業部 開発・革新チーム
樋口 威彦

社員紹介

- ★自己紹介
S38年6月13日生
A型 ふたご座
- 趣味
ゴルフ・野球(最近やっつけないな)
- 自慢話
学生時代にあるグループ(詳しくは言えない)のリーダーをやっていた事
最近では、かわいい一人娘がいる事ぐらいかな?(親バカ)
- 憧れる男性像
夢(目標)を持ち、その事に情熱を燃やしている人
- 谷さんはこんな人
・ハンサムボーイ
・恐妻家
・クールでダンディ
・ゴルフはレフティー
・仕事が好きやいやさしい
・物事にとらわれない
・恥ずかしがり屋
・自分の考えを持っている
・どんなスポーツをしてもフォームがきれい!!(一流です)
- ・若いとき、タレント(石野真子)の親衛隊隊長を勤めていた。なんと部下が1,000人いたときいています。(リーダーシップがとれるんです)
- ・カラオケ大好き(マイクを離さない)



CSセンター
谷 芳典



1月8日に創業130年を迎え、創業日に併せて金剛登山を企画実施しました。

今回は、金剛山頂に「記念モニュメント（電子時計）」の寄贈、除幕式も行い過去最高の総勢75名で盛大に行いました。前日迄は人数確認や当日地元の奈良TVが取材に来て頂くことが前日の夕方に決定し、式次第の作成、打ち合わせと急に慌ただしくなり夜遅くまで準備に追われ緊

張の面持ちで当日を迎えま

した。

当日は、梅田と難波にバスをチャーターしロー

プウエーの駐車場に8時45分集

合、ハツラツ委員

長の挨拶、準備体

操、コース説明（社

長夫人）を行い、登山

組み・ロープウエー組

と分かれて山頂へと出

発しました。トランシー

バー10台で状況把握しながら、安全かつスピーディ

ーに登山できるように委員会メンバーがサポートし予定通り約1時間半の所要時間で山頂に到着し、記念モニュメントの除幕式を厳かに行いました。

社長、専務、常務、部長の除幕を機にフラッシュが次々とたかれ、幹事としてはようやく心が晴れまし

創業130周年金剛登山



た。この時天候も最高で、天をも味方に着ける事が出来る事が出来ました。

この後、岡室長／新日本機械工業(株)・木村部長にコメントを頂き和やかなムードで会を進め、中締めで専務の言葉で委員会に対するコメントを頂いた事に違いありません。



ハツラツ委員が主体となつて運営しましたが、社員全員の協力があつてこの記念行事が無事終了でき、天彦イズムが感じられ最高の一日となりました。



ハツラツ委員長として、この企画・運営が出来ましたこと、幸に感じております。又、ご無理を聞いて下さった、(株)JTB・元好様には感謝致します。

次回の夏の登山の参加、心よりお待ちしております。

奈良TVの画像は、弊社のホームページから見ることが出来ます。一度ご覧下さい。この映像は1月8日PM18:00～18:10のニュース枠の60秒間奈良地区で放映されました。

